



長崎港 重要港湾

長崎港は、九州の西端に位置し南西から北東に湾入して、港口付近に大小の島を有した天然の良港であり、その姿から「鶴の港」と讃えられてきました。

1571年の開港以降、海外との交易により繁栄し、明治以降は最重要港湾7港に指定され、上海航路をはじめとしてオーストラリア、フィリピン、北米方面等の連絡船が寄港する歴史ある貿易港として発展してきました。



■長崎港と長崎市街地

戦後の港湾法制定に伴い1951年に重要港湾に指定されると、小ヶ倉柳地区外貿ふ頭整備、深堀・香焼間工業用地造成などを行い、工業港として新しい性格を作りだしてきました。

また国内有数のクルーズ船の寄港地として2017年には全国2位となる年間267隻ものクルーズ船が寄港しており、観光県長崎にとって重要な役割を果たしています。

2021年に開港450周年を迎え、様々な記念行事が行われたほか、「長崎港松が枝地区国際旅客ターミナル整備事業」が進められており、益々の発展が期待されます。



■松が枝地区

多くのクルーズ船が寄港。16万総トン級客船が2隻同時接岸可能な2バース化事業を進めています。



■元船地区

離島への発着場である長崎港ターミナルビルがあり、交通の結節点として多くの方が利用しています。



■常盤・出島地区

当地区の長崎水辺の森公園では多くのイベントが開催され、県民の憩いの場として親しまれています。

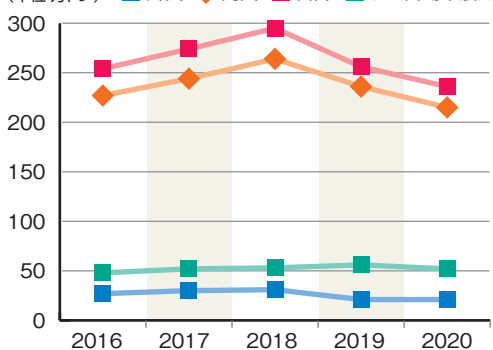


■小ヶ倉柳地区

県内唯一の国際定期コンテナ航路が就航しており、貿易拠点として利用されています。

■取扱貨物量の推移

(単位:万トン) ■ 外貿 ■ 内貿 ■ 合計 ■ うち自動車航送



■福田地区

ボート・ヨット等が係留できるマリナーや緑地が整備され、海洋レジャーの場として利用されています。

位置



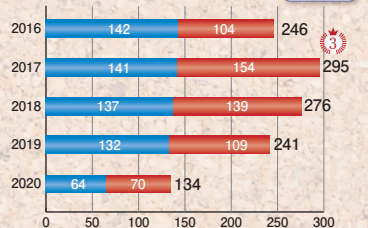
港勢(2020年)

入港船舶隻数	1.3万隻
総トン数	746万トン
海上出入貨物	236万トン
船舶乗降人員	71万人

港湾情報 全国の順位

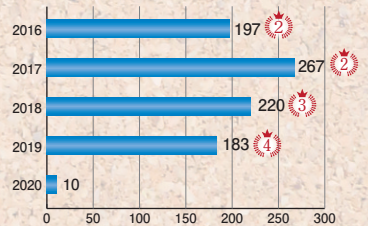
長崎港における乗降人員数

[単位:万人]



長崎港におけるクルーズ船寄港実績

[単位:隻]



定期航路

長崎～五島	
片道	133.2km 所要時間
長崎	福江 1時間25分
長崎	奈良尾 1時間15分
長崎	福江 3時間10分
長崎	奈良尾 2時間35分
長崎～上五島(鯛之浦)	
片道	80.0km 所要時間
長崎	鯛之浦 1時間40分
長崎～伊王島～高島	
片道	20.1km 所要時間
長崎	伊王島 0時間20分
長崎	高島 0時間35分